

納入工場宛

レディーミクストコンクリート配合計画書作成依頼書 【スポット物件専用】

ver.2.0

大阪広域生コンクリート協同組合

【作成依頼票】

No.1 / 2

| | | | | | | | | |
|---------|--|-------|---|---|-----|------|---|--|
| 作成依頼日 | | 西暦 | 年 | 月 | 日 | | | |
| 発行の区分 | | 表紙の有無 | | | | | | |
| 納入工場名 | | | | | | | | |
| 窓口販売店 | | | | | | | | |
| デリバリー社 | | | | | | | | |
| 担当者名 | Ⓜ | | | | | | | |
| TEL | FAX | | | | | | | |
| 携帯電話 | | | | | | | | |
| 計画書の日付 | 西暦 | 年 | 月 | 日 | 付 | 提出部数 | 部 | |
| 希望提出期限 | 西暦 | 年 | 月 | 日 | 迄 | 提出方法 | | |
| 提出先住所 | 〒 | | | | 提出先 | | | |
| メールアドレス | ※メール提出が必要な場合に記入する | | | | | | | |
| 工事の内容 | 監督官庁名 | | | | | | | |
| | 設計事務所名 | | | | | | | |
| | 施工業者名 | | | | | | | |
| | 現場責任者名 | | | | Ⓜ | | | |
| | TEL | FAX | | | | | | |
| | 工事名称 | | | | | | | |
| 現場所在地 | | | | | | | | |
| 備考 | ※この依頼書は、100m ³ 以下のスポット物件に適用します ※MCONの場合は、通常の依頼書を使用してください | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 工場検印 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| No. | 「レディーミストコンクリート配合計画書作成依頼書」作成時の留意事項 |
|-----|--|
| 1 | 100m ³ 以下のスポット物件専用の「レディーミストコンクリート配合計画書作成依頼書」は、直接、納入工場宛に送付してください。 |
| 2 | MCONの場合は、スポット物件も通常の配合計画書作成依頼書様式による手続きをしてください。 |
| 3 | 「レディーミストコンクリート配合計画書作成依頼書」は、「作成依頼票」と「配合内容」が1セットです。 |
| 4 | 「レディーミストコンクリート配合計画書作成依頼書」は、FAX受信時に記載内容が不明瞭にならないようにするため、手書きはせず、原則として、所定のEXCELファイルに入力し作成・印刷してください。 |
| 5 | 提出期限まで余裕をもってご依頼ください。(できれば、配合計画書提出まで1週間程度を確保願います) なお、提出期限の記載が無い場合等は「作成次第提出」としますので、ご承知おきください。 |
| 6 | 配合計画書の提出方法が「メール添付(PDF)」の場合は、提出先住所にメールアドレスを記載して下さい。 |
| 7 | 官需物件の場合は、「作成依頼票」に監督官庁名を必ず記入して下さい。 |
| 8 | 「作成依頼票」に現場責任者名を記入願います。 |
| 9 | 「作成依頼票」に工事名称・現場所在地を正確に記入願います。 |
| 10 | 「配合内容」は、3配合分が1シートです。1つの配合欄への複数配合の記入を禁止します。 |
| 11 | 「配合内容」は1ファイルで4シート(12配合)迄、記載可能です。 |
| 12 | このEXCELにおいて、配合No.は、最初の配合だけ番号入力ですが、直接入力も出来ます。以降は「呼び強度」を入力すると、自動的に連番で表示されます。また、シート番号は自動的に表示されますので入力不要です。 |
| 13 | ②「本配合の適用期間」は、AE減水剤及び高性能AE減水剤配合は「通期」を選択する。但し、MCONの場合は納入時期を考慮して選択する。納入予定時期と混同しない。 |
| 14 | ⑤ 計画供用期間の級が、「長期」・「超長期」等のため、原水指定が必要な場合は、配合計画書作成依頼書提出時に、前記要件が確認できるように、特記等の写しを添付すること。 また、工場が配合計画書提出後に、同様の事由により、原水指定が必要となった場合には、速やかに特記等の写しを提出すること。 |
| 15 | ⑤ 確認事項は建築仕様の工事のみ記入すること。 ⑥ また、高流動コンクリート・鋼管充填コンクリート(CFT)の場合は記入不要です。 |
| 16 | ⑥ JASS5-2009仕様の場合、構造体補正值Sは設計者の指定値を記入する。 |
| 17 | 化学混和剤の銘柄指定はできません。 |
| 18 | 収縮低減タイプの化学混和剤を指定された場合でも、乾燥収縮率を保証するものではありません。 また、AE減水剤(収縮低減タイプ)は、現行ではJIS非認証品(JIS外対応)となります。 なお、納入書の備考欄に記載を要請される場合は、銘柄の記入で対応します。 |
| 19 | 「混和材料の種類」には、セメントの「内割り」、又は「外割り」の区分も選択・記入する。 原則として、混和材料を結合材として取扱う場合はW/B、取扱わない場合はW/C表記となります。 異なる表記が必要な場合は、備考欄に記載願います。また、W/Cの上限指定があり、W/Bでないと満足しない場合は、W/CのW/Bへの読替え可を備考欄に記載願います。 |
| 20 | 流動化コンクリートのスランプ増大値は最大6cmとし、記入例は「8→12」とする。 但し、ベースコンクリートはAE減水剤配合に限ります。 |
| 21 | 協議・指定事項の「指定空気量」は、普通・舗装・高強度コンで4.5%、軽量コンで5.0%以外で、特殊な値を指定する時のみ記入する。(0.5%単位) |
| 22 | 協議・指定事項欄に「呼び強度を保証する材齢」の指定がない場合は、原則として強度試験における供試体材齢の28日(早強は7日)とする。その他の材齢を指定する場合は記入する。 |
| 23 | 軽量コンクリートは、協議・指定事項欄の「単位容積質量」を必ず記載する。 |
| 24 | 協議・指定事項欄にコンクリートの最高温度又は最低温度の記入は受付ません。 |
| 25 | 協議・指定事項欄の環境マークの表示の可否を記入する。 |
| 26 | 軽量コンクリートの場合、自主管理での単位水量測定結果による製品の返品はお受けできません。 |
| 27 | 呼び強度36を超える配合の場合、JISA5308-2009に基づく「水の区分」は協議事項とします。 なお、建築工事の場合で長期・超長期配合及び高流動コンクリート・鋼管充填コンクリートでは、原則として原水を使用する。 |
| *1 | 主な文字入力のセルは、日本語入力自動でON状態になります。 |
| *2 | 「レディーミストコンクリート配合計画書作成依頼書」の印刷時は、各ワークシートを個別に印刷するか、又は、「印刷プレビュー」を行い、「設定」で「ブック全体を印刷」を選択し、「ページ指定」で「開始 1、終了 XX」と設定すれば、まとめて印刷できます。「XX」は、「作成依頼票」の右肩に表示されている「No.1/XX」で確認できます。 |
| *3 | 「レディーミストコンクリート配合計画書作成依頼書」を作成後、EXCELからPDF形式に直接変換して保存する場合は、ファイルの保存時に、「ファイル」の「名前を付けて保存」を選択し、「ファイルの種類」で「PDF」を指定して、さらに、「オプション」を押して、オプションメニューを表示して「ブック全体」を選択し、「ページ指定」で「開始 1」、「終了 XX」として、保存することで変換・保存可能です。「XX」は、「作成依頼票」の右肩に表示されている「No.1/XX」で確認できます。 |